

令和5年度「幸福について考えるワークショップ」における意見等について

1 開催目的

いわて県民計画（2019～2028）の推進に向け、県民に「幸福」について考える機会を提供するとともに、ワークショップを通じて県民の幸福感に関する意識を把握し、政策評価等に活用する。

2 対象とした分野別実感

- ① 子育て
- ② 地域の安全

3 ワークショップの開催状況等

(1) ワークショップの開催状況

	開催日	開催地域	参集者	
			人数	備考
第1回	6月8日	県南 (西和賀町)	8名 (男性5名、 女性3名)	町議会議員、自営業、集落支援員等
第2回	6月22日	県央 (葛巻町)	12名 (男性10名、 女性2名)	団体職員、自営業、地域おこし協力隊等
第3回	6月26日	県央 (盛岡市)	20名 (男性8名、 女性12名)	学生
第4回	6月28日	沿岸 (大槌町)	11名 (男性7名、 女性4名)	自営業、地域おこし協力隊、団体職員等
第5回	7月8日	県央 (矢巾町)		
第6回	7月10日	県央 (盛岡市)		
第7回	調整中	県北 (九戸村)		
第8回	調整中	県北 (二戸市)		

※ 第7回以降は予定

(2) ワークショップにおいて出された意見等

① 子育て

	分野の具体的なイメージ	考えられる解決策・自分ができること
第1回 西和賀町	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから積極的に挨拶をする (40代：女性) 競争がなく、すくすく育っていると思う。(40代：男性) 子どもも地域の大人の顔を知っているので、お互いに気にかけている。(50代：女性) 環境さえ整えば、世界とつながることはできるようになった。(40代：男性) 高校が存続するか不安である。(50代：男性) 義家族との関係も大変だが、親同士の付き合いが無理、気疲れする。(30代：女性) 教育面では常に不安を感じる。塾などもなく、北上や横手に通っている。(40代：男性) 昔と違ってコミュニティの変化があるのではないかと。世代間の関係性が難しい。(30代：女性) 子どもを預ける施設がない。特に0才児保育。働いているので、2人目を諦めた。(30代：女性) 教育環境の格差がある。中学・高校と進学するに従って、その差が大きいと思う。(40代：男性) ある程度の人口規模がないと、行政サービスも民間事業もない。(30代：男性) 家族で移住したが、学齢になり子育て（特に教育）環境の選択を迫られた。(30代：男性) 職業もリーダー像も地域にロールモデルがない。(40代：男性) 給付金より、就業しやすい環境、施策を整えてほしい。(40代：女性) 西和賀ではないが、他市町村では公営塾をやっているところもある。(40代：男性) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で子どもの居場所をつくる。(30代：女性) ファミリーサポートセンターの整備を訴える。(40代：男性) 移住までいなくても、保育園留学等町として子育てしやすい施策に取り組む。(40代：男性) 西和賀高校への県外からの生徒募集。(50代：男性) 公民館等を活用したオンラインでの学習支援を誘致する。(40代：男性) 県南地域（北上）への大学誘致。(40代：男性)
第2回 葛巻町	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代への町の施策（保育料無料、給食費無料、18歳までの医療費無料、高校の制服無料）が良い (30代：男性) 昔と比較して、出産祝い金など制度が整っていると思う (60代：女性) レジャーなど少ないなりに、クラフト市や祭りなど地域で頑張っている (40代：女性) 公営塾はあるが、選択肢は少ない (30代：男性) 患者輸送バスなど通院配慮はされているが、産科がなく、小児科の診療日も決まっているので、夜間休日は心配 (20代：男) 	<ul style="list-style-type: none"> 職場も地域も育休に対する意識改革、啓発が必要。(30代：男性) 子育てへの支援などは結構頑張っている。でも育った子供が地元に住みたくなるような取り組みが足りない。それは

	分野の具体的なイメージ	考えられる解決策・自分ができること
	<p>性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然には恵まれているが、小さな子どもが遊ぶ遊具や公園がない (20代：男性) ・ 学校統合により、学校までの送迎が大変になってきている (30代：男性) ・ 出生率をあげようというが、実際育休が取りにくい。意識啓発はもちろん必要だけど、何より職場のマンパワーが足りない。制度活用に繋がっていない。自分も出産したとき、すぐに復帰した。(40代：女性) ・ 職場で男性が育休を取る事例が身近にない (20代：男性) ・ 祝い金などは嬉しいが、賃金が低いのではないかな。(30代：男性) 	<p>親（大人）の心がけで変わると思う。親の幸せな姿を見せることが次の世代につながると思う。 (60代：女性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの団体の行事の連携、棚卸しをして子育てしやすい環境をつくる。(40代：男性) ・ AIを活用するなど、職場での子育て支援環境を整える。(40代：女性) ・ 職場での配置、マネジメントをしっかりと。 (20代：男性)
第3回 盛岡市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認定こども園が増えた。(20代：女性) ・ 公園が多い。(自分の居住地域) (20代：女性) ・ (出身地にはない) 地区対応運動会など、子供と一緒にイベントが地域にある。(20代：男性) ・ 朝に子供の見守りの人が交差点に立っている。(20代：女性) ・ 子育て支援のマークがあるお店がわかりやすい。(20代：女性) ・ SNSやコマーシャルで子育て支援情報が入ってくる。(例：生協のはじめてBOX) (20代：女性) ・ 学校の近くに児童センターがある。(20代：男性) ・ 幼稚園、保育園が住宅街に設置されている。逆を言えば、郊外では不利?? (20代：女性) ・ 学生なので、実感がわかない。制度がわからない。(20代：男性) ・ 盛岡は、教育環境（塾やお稽古事等）の面では、県内では恵まれている。(20代：女性) ・ 幼稚園、保育園の園庭が狭い。(20代：男性) ・ 公園が少ない。(設置が偏っている?) (20代：女性) ・ 公園利用のマナーが悪い人がいるので子供が近寄れないケースがあるのではないかな。(20代：女性) ・ 子育てに付随する様々な組織活動（例：PTA）の大変さが不 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『費用の無償化』も含め、有益な支援があれば、この地での生活を選ぶのではないかな。(20代：男性) ・ バランスの良い医療体制（診療科）の充実。(20代：女性) ・ 教育の格差をなくす。教育を受ける機会の提供、選択できるコンテンツ増。(20代：女性) ・ ママ友同士の助け合い。(20代：女性) ・ 様々な情報が発信され、受け取れる環境がほしい。わかりやすい情報発信。(20代：男性) ・ 世代交流イベント。(20代：女性) ・ 育休など早く取得できる仕組み、理解する意識啓発をしっかりとやって

	分野の具体的なイメージ	考えられる解決策・自分ができること
	<p>安。(20代：女性)</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊びに行く施設または土日等の預かり施設が少ない。(20代：女性) 子育て支援センターが町中にしかない。(20代：女性) 地元には0歳時保育がない。共働き世代には厳しいと思う。(20代：女性) 交通手段がバスしかなく、小さい子連れの場合は移動が大変そう。(20代：男性) 	<p>いく。(20代：女性)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学も含めた学費支援制度。(20代：男性) スクールガード等が立つ場所を見直ししてはどうか。(20代：女性)
第4回 大槌町	<ul style="list-style-type: none"> 放っていても子どもは育つ。(40代：男性) 一時的ではあるが、出産祝い金の制度は嬉しい。(30代：女性) 自然も含めて心豊かな育ちができる環境に恵まれている。(40代：男性) 中高一貫教育で仲間と一緒に進学できる良い面、悪い面がある。(20代：女性) 競争心に欠けているかもしれず、町外に出た時不安になる。(20代：男性) 中心部には公園があるが、郊外では歩いていける距離に公園がない。(20代：女性) 子育てする世代が住みたくなる条件が少ない。仕事、レジャー施設など選択が少ない。(30代：男性) 塾もなく、お稽古事も選択が少ない。(10代：女性) 友達と買い物したり、遊んだりする場がない。(10代：女性) 救急、夜間診療体制が町内にはない。子育て世代の安心がほしい。(40代：男性) 社会での女性の役割、働くことなど閉鎖的かもしれない。(30代：男性) 映画など文化的なことに触れる機会が少ない。(20代：男性) 塾とかなくても自発的に学びに興味を持つ環境があればいいと思う。(20代：男性) 	<ul style="list-style-type: none"> サブスクールの充実(20代：男性) 保育料免除など行政の制度の充実と周知を図る。(40代：男性) 個々の家庭の経済状況に関わらず、いろいろ選択できる機会の提供。(40代：男性) 友達と気軽に集まれる場所や行きやすい場所(買い物、塾など)。(10代：女性) できる限り、子どもが望む環境を整えたい。(30代：男性) 情報がどこにあるか、アンテナを高くしていく。(20代：女性) 職場をはじめ地域のサポート体制づくりは必要だと思う。制度とか意識啓発。(30代：女性)

② 地域の安全

	低下したと考えられる具体的なイメージ	考えられる解決策・自分ができること
第1回 西和賀町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犯罪等は少なく、その方面では安全だと思う。外出時の無施錠には、移住してきた時に驚いた。(30代：男性) ・ 大きな自然災害はないが、山間の地域なので土砂災害は心配。(40代：男性) ・ 元々の住民にとって、雪害という意識がない。雪由来の交通事故や雪下ろし作業等にもなう事故があるが、それは『雪が原因』という意識が低いと思われる。(40代：男性) ・ 地域での高齢者の見守りはできていると思うが、反面、お互いを知りすぎている窮屈さ、監視・抑止社会のように感じるときもある。(30代：女性) ・ 子どもが少なく、地域の皆が子どもに声かけるなどやさしいと思う。(40代：女性) ・ 昔と違い、飲酒トラブルや飲酒運転が減ったと感じる。(50代：男性) ・ 消防団活動に参加する人が減っている。高齢化も理由だが、組織の特性（上下関係等）が、若者の参加を阻害していると思う。横の繋がりが難しい。(40代：男性) ・ 高齢者独居の増加、世帯減少によるご近所付き合いができなくなっている場合もある。(50代：女性) ・ 人口減が進み、生活インフラ（通院、救急搬送、買い物等）の整備、支援の仕組みなどがなくなっている。(40代：男性) ・ 獣害の話はあまり聞かない。(50代：男性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節毎に住み替えする施策も必要。(40代：男性) ・ 地域運営組織、小規模多機能自治の実践に向けて検討していく。(30代：男性) ・ 様々な補助事業をうまく活用していくための事務支援がほしい(40代：女性) ・ 雪国。除雪できる人を増やす。大雪は災害という意識啓発。(40代：男性) ・ 同年代を消防団に入るように誘う。(30代：男性)
第2回 葛巻町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 盆地で山に囲まれてはいるが、自然災害が少ない地域である。(70代：男性) ・ 大きな犯罪などもなく、日々の生活には安心できている。(60代：女性) ・ 冬季の融雪溝見回り出動はあるが、消防団の出動回数は少ない。(40代：男性) ・ 地域内での顔が見える繋がりがある。(60代：女性) ・ バイパスはできたが、町中の旧道がメインである。道路が狭く、歩道もないことから、手押しカートの高齢者や通学などは心配だ。(30代：男性) ・ スクールガードは町からの依頼で実施している。(70代：男性) ・ 人口減、高齢化などにより、地域の様々なメンテナンスを担う人が減っているのはないか。(50代：男性) ・ 除雪よりも、道路凍結が困る。(40代：女性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町中の歩道整備が必要。(50代：男性) ・ 生活環境の整備や補完など移住・定住への支援策(30代：男性) ・ 若い世代との連携、繋がりを持てる取り組みがほしい。(40代：女性) ・ 通学の送迎をしているが、やはり外灯は設置してほしい。(30代：男性) ・ 交流できる機会は大事。もう少し飲食店が

	低下したと考えられる具体的なイメージ	考えられる解決策・自分ができること
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心部以外は、外灯も少なく、道路が暗い。(50代：男性) ・ 昨今、熊の出没が怖い。(20代：男性) ・ 人口減少や共働きなど近所付き合いができなくなっている場合もある。(40代：女性) ・ 病院はあるが、診療科が少なく、緊急時は不安である。(60代：女性) ・ 老後が心配。(30代：男性) ・ 認知症高齢者の徘徊を時々見かける。(20代：男性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遅くまでやってくれたら…。(40代：男性) ・ 若い世代が積極的に自治会へ参加する。(70代：男性)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路の自転車専用レーンはよい。(20代：男性) ・ 子どもたち(中学生まで)のヘルメット着用率が高い。(20代：女性) ・ 内陸は自然災害が少ないと思う。危険な箇所も少ない。(20代：男性) ・ 地域内での顔が見える繋がりがある。声をかけてくれる。(20代：女性) ・ 町内会など地域コミュニティがちゃんとある。(20代：女性) ・ 大学周辺には外灯があるし、人通りもあるので安全だと思う。(20代：男性) ・ 郊外は、道路が狭く、街灯が少ない。(20代：男性) ・ 運転者も歩行者も信号無視が多い。意外と地方は運転が荒いと思う。(20代：男性) ・ ハザードマップ等の情報がわからない。(20代：男性) ・ 川に囲まれた地域なので、川の氾濫が不安である。(20代：男性) ・ 鹿や熊、最近は獣害情報が多く、どう対応すればよいのか。(20代：女性) ・ 道路がデコボコしていて、通学しにくい。(自転車、バイク)(20代：男性) ・ 横断歩道が少ない気がする。(20代：女性) ・ 町中の除雪はあまりうまくない。(20代：女性) ・ 自転車の無灯火が多い。ルール徹底を。(20代：男性) ・ 災害時の備え、助け合いができるのか？地域の仕組みがどうなっているのか？(20代：女性) ・ 一方通行や路地など道路のつくりはよくない。(20代：男性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学内の購買で、災害対策グッズを販売してほしい。(20代：男性) ・ 防災教育が必要だと思う。(20代：女性) ・ クロスバイクへのライトは常備品にしてほしい。(20代：男性) ・ 道路の整備をすすめてほしい。(20代：女性) ・ 通学・通勤時間帯の交通安全対策を考える。スピード違反取締など。(20代：女性) ・ 学生も地域のイベントへ積極的に参加する。(20代：女性)

	低下したと考えられる具体的なイメージ	考えられる解決策・自分ができること
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町医者（医院）が少なく、いつも混んでいる。（20代：女性） 	
第4回 大槌町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 街灯が少ない。（30代：女性） ・ 自転車道路がないので通学路の危険が増していると思う。（40代：男性） ・ 学校への距離はもちろん、交通事情等による児童・生徒は親御さんの送迎が多い。（40代：男性） ・ 放置林が増え、鹿・熊の目撃情報が増えている。（30代：男性） ・ 気候変動による集中豪雨など今後は土砂災害にも気をつけていく必要がある。（30代：男性） ・ 施錠なしで外出できる。移住した時にびっくりした。（20代：男性） ・ 夜歩いている人が少なく、夜道の一人歩きで人に対する危険は感じない。（都会と違う人への不安などがないという意味で）（20代：女性） ・ 熊以外の悪いニュースはない。不審者もない。（20代：女性） ・ 親に送迎してもらっているので帰りが遅くなったときは安心できる。（10代：女性） ・ 高齢者も見守りネットワークなど仕組みがちゃんと動いていると思う。（30代：男性） ・ 日常生活では特に不満がない。（20代：女性） ・ 犯罪、大きな事件がなくて安心できる。（20代：男性） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世代を越えた対話の場づくりが大事だと改めて思った。（40代：男性） ・ スクールガードなど地域で取り組んでいることを継続していく。（30代：女性） ・ ジビエ事業をより拡大していく。経済活動になれば、取り組みも増えていく。（40代：男性） ・ 大きな事件も事故もない町。これを維持できるようにしたい。（30代：男性） ・ この場で出た意見など今後の自分の子育てに生かしたい。（40代：男性）